

総合都市交通計画（案）について

目次

第1回検討会議〈前回〉の内容

1. 計画の役割
2. 計画策定の背景
3. 計画策定にあたり考慮すべき事項
 - (1) 交通を取り巻く動向
 - (2) 堺市マスタープランにおけるまちづくりの方向性
 - (3) 公共交通に係る市民意向
4. 交通に係る現状・課題
 - (1) 交通基盤の現状
 - (2) 交通流動の現状
 - (3) 公共交通利用の現状
 - (4) 本市における取り組み事例
 - (5) 公共交通に係る課題のまとめ

第2回検討会議〈今回〉の内容

5. 計画の方向性
 - (1) まちづくりを進めるうえで公共交通に求められること
 - (2) 公共交通の目標像
 - (3) 施策の展開について
6. 公共交通ネットワークの形成について
 - (1) ネットワーク形成の方向性
 - (2) ネットワーク形成のイメージ
 - (3) ネットワークの具体化にあたって
7. 地域内公共交通の充実について
 - (1) 地域内公共交通に係る現状・課題
 - (2) 地域内公共交通の方向性と対応方針
 - (3) 地域内公共交通の施策展開
8. 公共交通の利便性向上・利用促進について
 - (1) 利便性向上・利用促進に向けた基本的考え方
 - (2) 公共交通への転換イメージ
 - (3) 具体的な施策例
9. 施策の推進体制

(5) 公共交通に係る課題のまとめ

交通を取り巻く動向、堺市マスタープラン、公共交通に係る市民意向や交通に係る現状等を踏まえた、公共交通に係る課題は以下のように考えられます。

人にやさしい交通環境の確立

高齢者や子育て世代等の移動手段としての公共交通の必要性、公共交通空白地域の改善

⇒ 多様な世代が安全・快適に移動できる、人にやさしい交通環境の確立

公共交通の維持・活性化

環境負荷の低減、公共交通利用の必要性

⇒ 公共交通の運行維持、サービス水準の向上に資する利用の促進・活性化

都市軸を構成する交通ネットワークの形成

東西方向に弱い公共交通網、まちや拠点を支える交通軸強化の必要性

⇒ 市内の拠点間や流動の多い区間における公共交通軸の強化

まちの活性化につながる交通利便性の向上

交流、観光を支える交通の必要性

⇒ 市内外の人の移動を活発化させる公共交通の利便向上

5. 計画の方向性

(1) まちづくりを進めるうえで公共交通に求められること

堺市マスタープランでは、本計画の検討にあたり基礎となるまちづくりの方向性を示しています。また、めざすべき堺の将来像を実現するため、3つのプロジェクトを特に重点的に取り組むこととしています。

まちづくりを進めるうえで公共交通に求められることは以下のとおりと考えられます。

めざすべき堺の将来像

未来へ飛躍する自由・自治都市

～安らぎ・楽しみ・活躍する場として「希まれるまち」へ～

堺市マスタープラン

実現するために

重点的に取り組む3つのプロジェクト

子育てのまち堺・命のつながりへの挑戦！
－生涯安心のまち実現プロジェクト－

歴史文化のまち堺・魅力創造への挑戦！
－誇りを持てるまち実現プロジェクト－

匠の技が生きるまち堺・低炭素社会への挑戦！
－未来につながるまち実現プロジェクト－

まちづくりを進めるうえで公共交通に求められること

市民等の身近な移動を支えること

観光振興に資する快適な移動を支えること

環境にやさしい移動を支えること

上記の役割を持続的に支え続けること

(2) 公共交通の目標像

堺市マスタープランにおけるまちづくりの方向性や、まちづくりを進めるうえで公共交通に求められることを踏まえると、本市における公共交通がめざすべき目標像は以下のように考えられます。

人と環境にやさしい公共交通

暮らしの安心感を高める「身近な移動手段」としての公共交通

公共交通の利用環境の向上を図り、自動車を使用しない・できない人をはじめとした多様な世代の人の日常生活を支え、暮らしの安心感を高める「身近な移動手段」として機能する。

環境共生都市の実現に資する「環境にやさしい移動手段」としての公共交通

自動車の利用を抑制し、公共交通の利用を促進することで、環境負荷の低減を図り、持続可能な環境共生都市の実現に資する「環境にやさしい移動手段」として機能する。

まちのにぎわいを支える公共交通

集約型都市構造の形成につながる「交流軸」としての公共交通

堺市マスタープランにおける拠点を相互に連絡することで、拠点間の交流を促し、拠点への機能集約を効率的かつ効果的に図る、集約型都市構造の形成につながる「交流軸」として機能する。

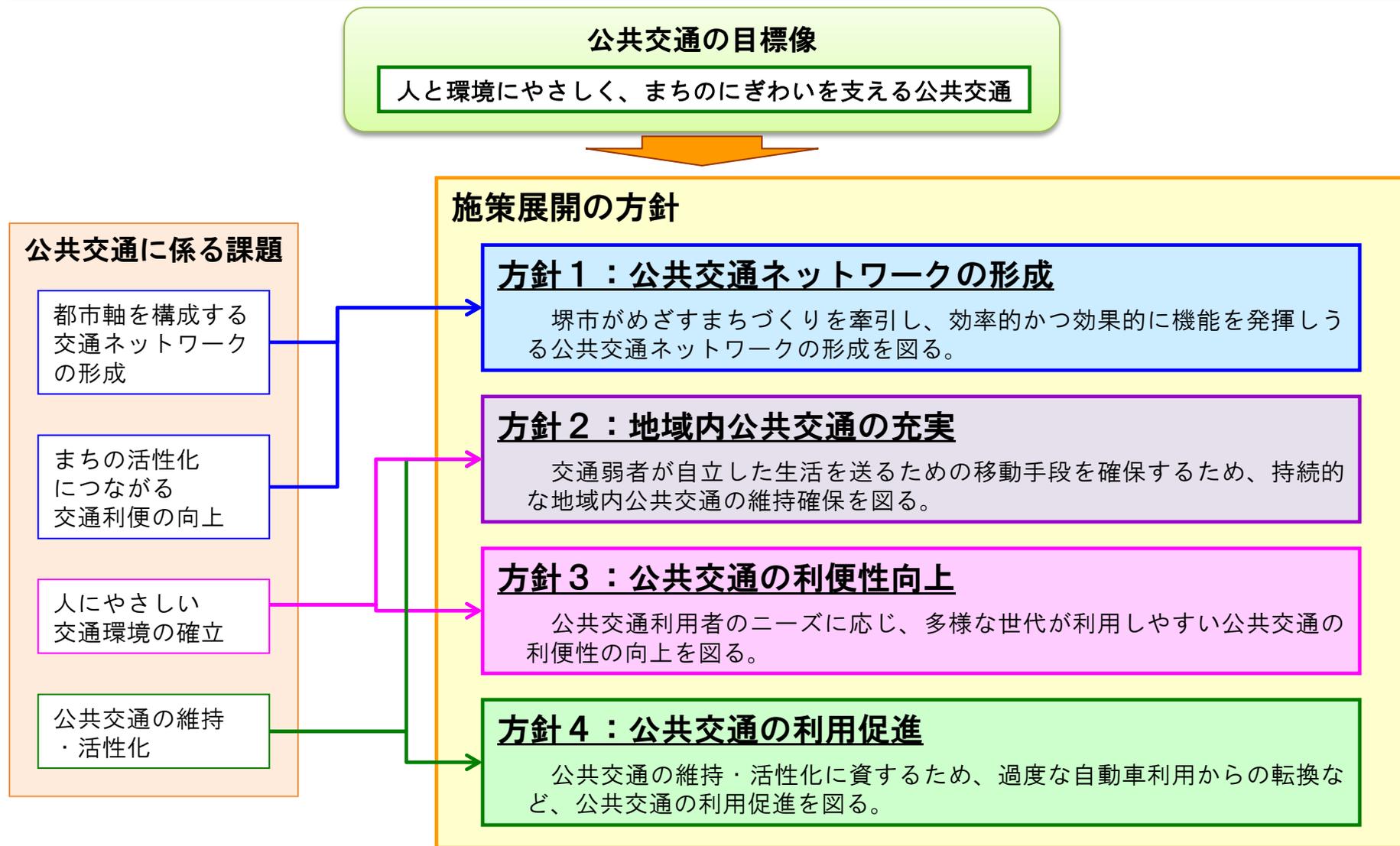
にぎわい形成に資する「強力な都市基盤」としての公共交通

都心などのにぎわいの場へ人を誘導するとともに、居住地や経済活動の場所としての利便性を高めることで、にぎわいの形成に資する「強力な都市基盤」として機能する。

(3) 施策の展開について

① 施策展開の方針

公共交通に係る課題に対応しつつ、公共交通がめざすべき目標像を実現するため、以下の方針のもと施策展開を図ります。



② 施策展開のイメージ

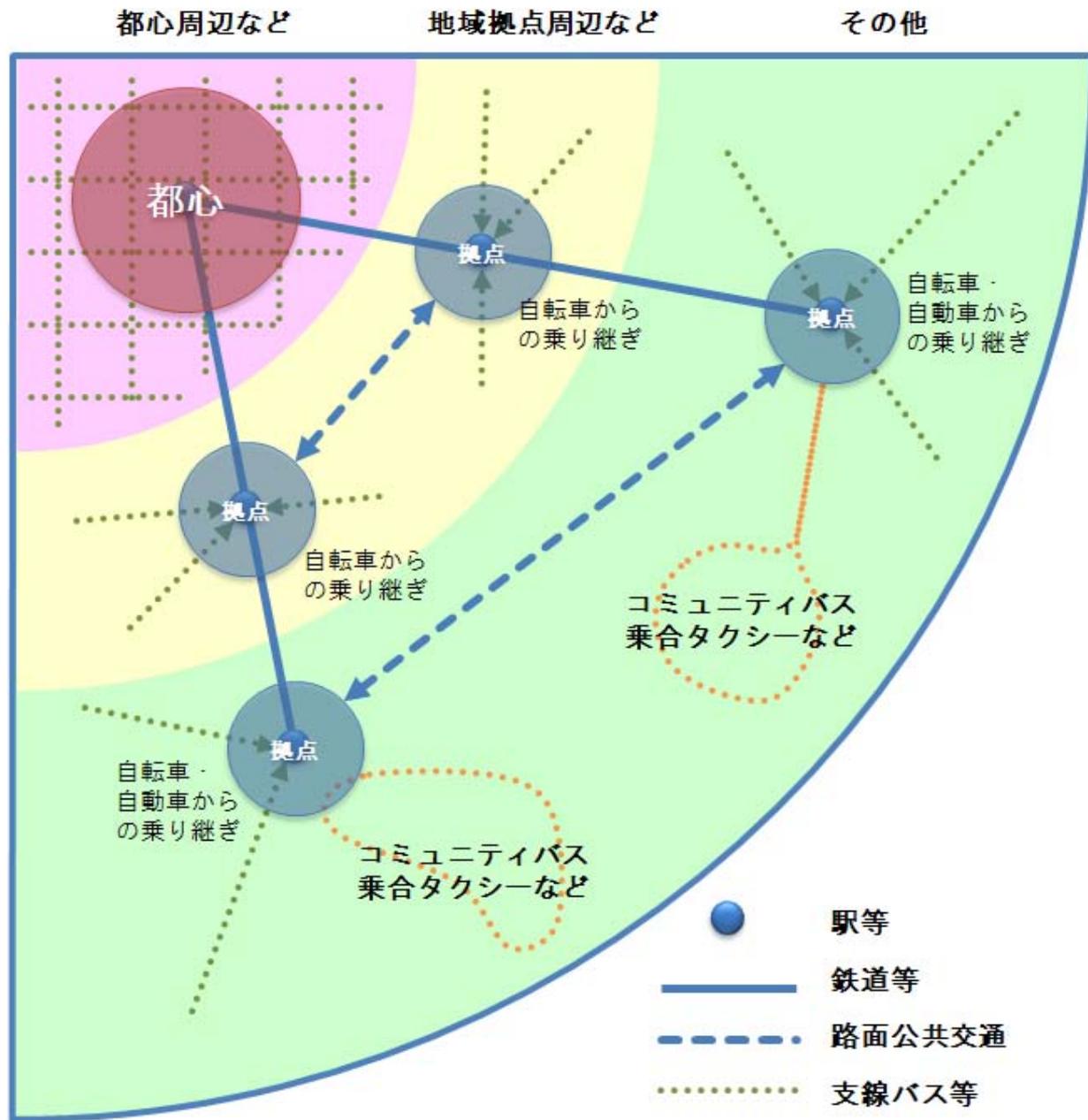
主な施策例

- ・ 駅機能の向上
(バス・自転車・自動車からの乗り継ぎ、乗継情報の提供など)
- ・ ICカードの導入
- ・ バスの位置情報等の提供
- ・ 情報案内の強化
- ・ おでかけ応援

など

- ・ 生活路線バスへの補助
- ・ コミュニティバス
- ・ 乗合タクシー

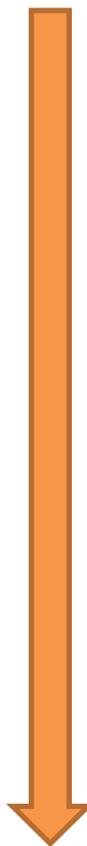
など



③ 施策展開のシナリオ

まちづくりや関連する交通施策との連携を図りながら4つの方針に基づく施策に取り組み、各々の効果を発現させることによって、相乗的に効果を増幅させながら施策展開を図ります。

短期



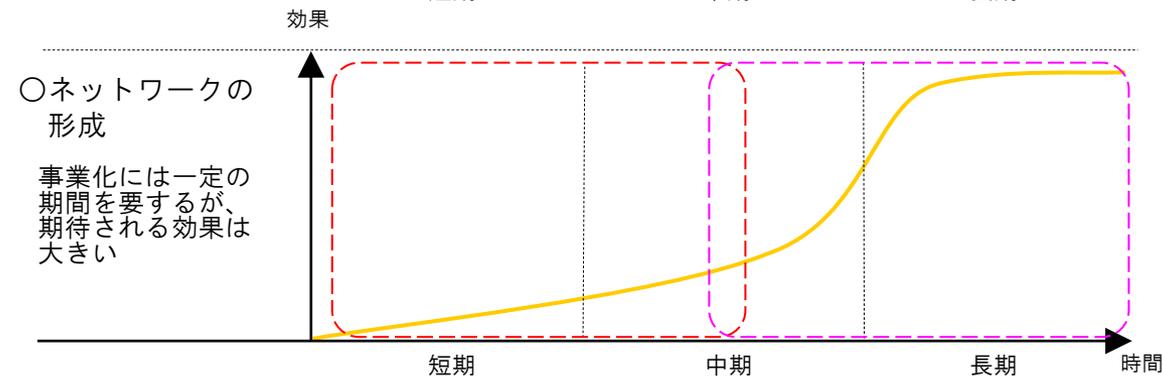
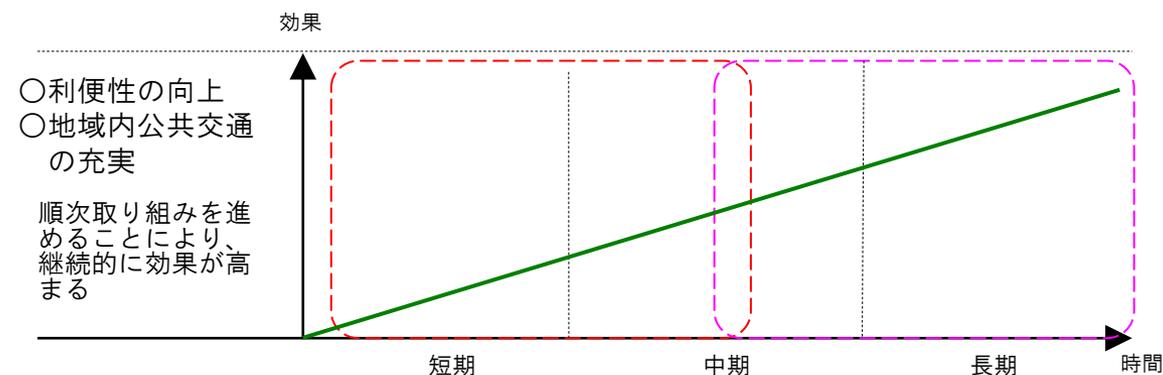
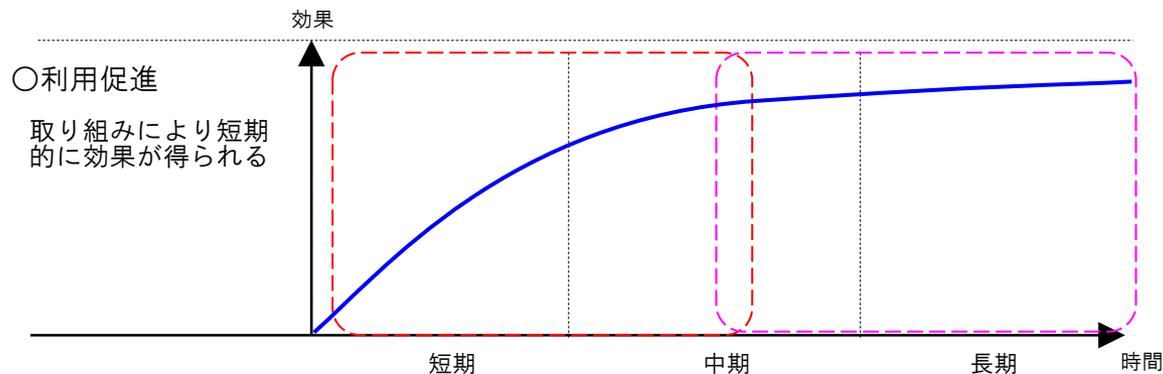
長期

【短期～中期の展開】

既存インフラの改善及び利用促進による公共交通の活性化

【中期～長期の展開】

既存インフラの高度化や広域的なインフラの拡充などによる交通体系の再編



6. 公共交通ネットワークの形成について

めざすべき都市構造や施策展開の方針を踏まえ、公共交通ネットワークの形成を図ります。

方針1：公共交通ネットワークの形成

堺市がめざすまちづくりを牽引し、効率的かつ効果的に機能を発揮しうる公共交通ネットワークの形成を図る。

(1) ネットワーク形成の方向性

基本的な視点

- ・ 市内外や拠点間を連絡する軸を強化し、都市構造を支える交通ネットワークの骨格を形成する。
- ・ 軸の形成にあたっては、まちづくりの方向性を考慮しつつ、適切な交通サービスの提供を図る。
- ・ 都心においては、各拠点との連携を強化するとともに、地域内の回遊性向上を図る。



機能強化の考え方

■ 広域ネットワーク

周辺都市との交流を支えるため、国土軸や京阪神の周辺都市及び関西国際空港等の交通拠点とのアクセス性を高める。

■ 拠点間ネットワーク

都心や地域拠点等を連絡する軸を強化し、都市構造を支える交通ネットワークの骨格を形成する。

■ 都心内交通ネットワーク

市全体の発展の中心的役割を担う都心において、過度に自動車に頼らない、来街者にも利便性の高い面的な公共交通ネットワークを形成する。

(2) ネットワーク形成のイメージ

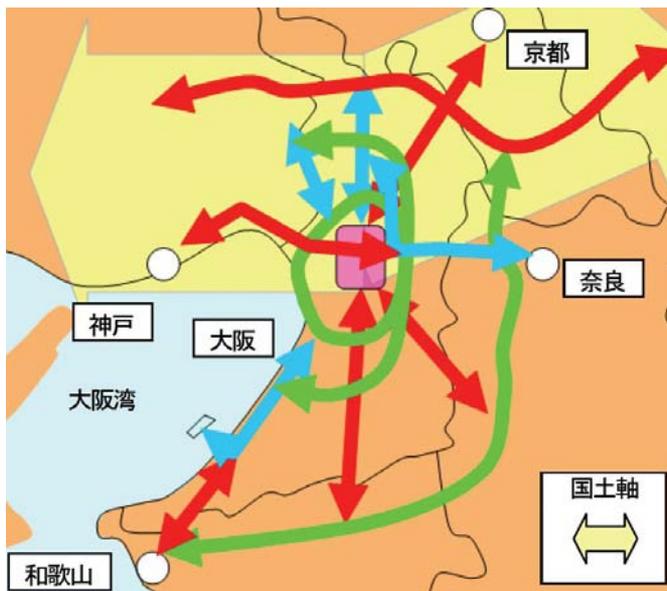
① 広域ネットワーク

a) 踏まえるべき視点

<大阪府交通道路マスタープラン>

空港等の広域交流拠点や国土軸への連携強化、環状交通機能の強化など交通ネットワークの形成に向けた、大阪の将来交通軸が示されている。

機能的な交通ネットワークの形成



① 関西圏の連携強化



③ 環状交通機能の強化



② 広域交流拠点（空港、港湾）

や国土軸への連絡強化



④ 都心部の交通機能強化

